

## 2016 年度「地質の日」記念企画展

### 「北海道のジオパーク —地球の営みを体感する—」のご案内

今年の「地質の日」展示は、4月26日（火）から6月5日（日）まで札幌市資料館で開かれます。今回の展示のテーマは「北海道のジオパーク —地球の営みを体感する—」です。

これまで開催されていた北大総合博物館が耐震工事で休館中のため、今年度も昨年度と同様に札幌市資料館での開催となります。

今回の展示の趣旨は次のとおりです。

『北海道は火山・山岳・湖沼などの地球活動に由来する自然景観に恵まれ、道内には現在「洞爺湖有珠山ジオパーク」や「アポイ岳ジオパーク」など、準備中を含め7か所のジオパークがある。本展示では、それらの各地のジオパークを紹介することによって、道民・市民の皆さまに道内各地の自然の豊かさや自然の営みを理解していただくとともに、それらをもたらす地球の営みについて知っていただく。』（企画展示ポスターより）

あわせて、市民セミナー、市民地質巡検も行われます。

市民セミナーでは「北海道のジオパークを語る」と題して、ジオパークの代表者にお話しいただきます。

また、市民地質巡検では「ぶらり小樽の地質と軟石建造物」をテーマに、小樽軟石採掘跡、小樽運河プラザなどを巡検します。

当協会はこの行事の共催団体となっています。

#### 【地質の日とは】

地球生命史、地球環境、自然災害などを理解するうえで重要な「地質」を、社会的に広く理解・認知してもらうために、関連学会や団体が発起人となって2007年に制定された日で、5月10日。この日は、“お雇い外国人”米国の地質学者ライマン（B. S. Lyman 1835～1920）らが、1876（明治9年）年に日本で最初の地質図「縮尺200万分の1の日本蝦夷（えぞ）地質要略之図」を刊行した日に当たり、それにちなんで制定された。

（知恵蔵2015より）

北海道は火山・山岳・湖沼などの地球活動に由来する自然景観に恵まれ、道内には現在「洞爺湖有珠山ジオパーク」や「アポイ岳ジオパーク」など、準備中を含め7か所のジオパークがある。

本展示では、それらの各地のジオパークを紹介することによって、道民・市民の皆さまに道内各地の自然の豊かさや自然の恵みを理解していただくとともに、それらをもたらず地球の営みについて知っていただく。

## 北海道のジオパーク —地球の営みを体感する—

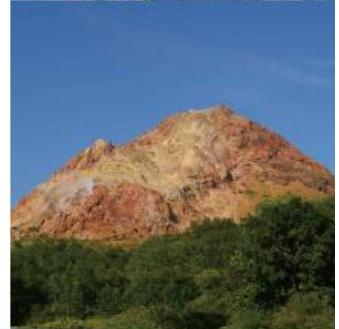
期間：2016年4月26日(火)～6月5日(日)  
※5/2(月), 5/9(月), 5/16(月), 5/23(月), 5/30(月)は休館

時間：9:00～19:00

会場：札幌市資料館1階展示室【入場無料】

札幌市中央区大通西13丁目  
札幌市資料館ホームページ <http://www.s-shiryokan.jp>

問い合わせ先 北大総合博物館(在田) (電話：011-706-2414)



### 市民地質巡検「ぶらり小樽の地質と軟石建造物」

日時：6月5日(日) 9:30～16:30

コース：小樽軟石採掘跡、小樽運河プラザなど

定員：約20名(中学生以上、体力に自信のある方)

参加費：300円(保険代・資料代等込み、当日集金します)

申込方法：5月20日(金)消印有効。

往復はがき(1人に付き1枚)に「地質巡検申込み」と明記。返信先(住所)・氏名(フリガナも)・性別・生年月日及び当日連絡可能な電話番号を明記。

申込先：〒047-0041 小樽市手宮1丁目3番6号

小樽市総合博物館 本館 ※申込み多数の時は抽選

問合せ先：小樽総合博物館 電話：0134-33-2523

メール：museum@city.otaru.lg.jp

### 市民セミナー

日時：5月7日(土) 13:30～16:30

場所：札幌市資料館2階 研修室

演題：「北海道のジオパークを語る」

※入場無料(申し込みは不要です)

※座席数(54席)を超えた場合は立見となります。

主催：「地質の日」展実行委員会

共催：北海道大学総合博物館、日本地質学会北海道支部、産総研地質調査総合センター、道総研地質研究所、北海道博物館

札幌市博物館活動センター、小樽市総合博物館、北海道地質調査業協会

後援：北海道教育委員会、札幌市教育委員会